

# 北海道東部におけるヤマユガ科クスサン [*Saturnia japonica* Moore, 1872] の定着と分布状況に関する報告

高橋 進<sup>\*</sup>

A Report on the Establishment and Distribution of *Saturnia japonica* (Japanese Giant Silkworm) in Eastern Hokkaido

Susumu TAKAHASHI<sup>\*</sup>

## 1. はじめに

クスサン [*Saturnia japonica* Moore, 1872] は、ヤマユガ科に属する広域分布種である。しかし、川原・橋本 (2008) によると、「北海道東部では偶産的と思われるわずかな記録しかなく、これまで十勝地方では上士幌町糠平、十勝川源流の2箇所 (小野1967, 1986)、釧路地方では釧路市、標茶町の2箇所 (飯島1990) で記録されているに過ぎない。また、これらはいずれも各地方で偶発的に1頭が採集されているのみで、北海道東部に於いて同一地方で1年間に複数の個体が得られたことはなかった。」とある。

一方、筆者は2020年以降、本種を釧路管内の各地で視認しており、2025年8月下旬～9月上旬にかけて、釧路湿原を取り囲む4市町村 (釧路市、釧路町、鶴居村、標茶町) を中心に本種の生息状況を調査し、一部個体を採集した。ここに近年の確実な記録として報告する。

## 調査方法

調査地では主に街灯 (ナトリウム灯、水銀灯)、企業看板、商業施設の駐車場を中心に飛翔個体を探索した。飛翔が見られない場合は、街灯周辺に落ちている本種の翅をもとに同定し生息を確認した。また、灯火の少ない地域では、車両の灯火に誘引される習性を利用して本種の生息を確認した。

## 結果 (2025年現在の4市町村の棲息状況)

### 釧路市 (共栄橋通り/国道38号線沿線)

釧路市では、共栄橋通りおよび国道38号線沿線において複数個体の飛翔を確認した。芦野地区の飲食店照明では夜間 (21時30分以降) に飛翔が終息し、建物壁面に静止している個体を捕獲した。また、国道38号線沿いの商業施設、公衆便所駐車場、道の駅などでも多数の生体・翅片を確認した。

### 釧路町 (国道44号沿線/国道391号沿線)

釧路町桂木では大型商業施設駐車場の照明に集まる個体を複数確認した。釧路町別保では国道44号線沿い駐車帯のナトリウム灯に複数の飛来を確認し、周辺の樹木に静止していた個体を捕獲した。別保駅周辺の街灯でも飛翔を視認しており、個体数は多かった。釧路町遠矢では商業施設及び、国道391号線沿いの街灯に少数の飛翔を確認した。

### 鶴居村 (国道274号線～道道53号線沿線)

道道53号線沿いの雪裡原野街灯で最初に確認し、鶴居村鶴居西では商業施設において約40個体の飛翔を確認した。温根内の駐車場では飛翔個体は少なかつたものの、温根内ビジターセンター職員によると2017年10月に初確認があり、写真記録も残されている。(写真④)

### 標茶町 (国道391号～国道274号/国道44号沿線)

当センター周辺では標茶町博物館の街灯のほか、サルボ登山道においても生体を確認した。国道391号線沿いでは企業看板や街灯などに多数の飛翔を確認した。過去に記録のあった二つ山では、車両のライトに飛来した1♀を確認した。国道274号線沿いの調査では、中久著呂市街地の街灯下で確認をした (写真③)。

## 採集データ

釧路町別保, 1♂, 1♀, 23. viii. 2025 (写真②)

釧路市芦野, 1♀, 24. viii. 2025

釧路市芦野, 1♂, 27. viii. 2025

標茶町茅沼, 1♀, オソツベツ原野 (五十石橋), 1♂, 鶴居村鶴居西, 1♂ (写真①), 鶴居村温根内, 1♀, 28. viii. 2025

釧路町東陽大通西, 28. viii. 2025

<sup>\*</sup> 塘路湖エコミュージアムセンター Lake Toro Eco Museum Center



写真① 鶴居村鶴居西産♂



写真② 釧路町別保産♀



写真③ 標茶町中久著呂市街地



写真④ 温根内ビジターセンター

(撮影：藤原伸也氏 2017年10月14日)

### 釧路湿原以外の分布状況

今回の調査により、釧路湿原周辺にはすでに多くの個体が確認され、偶産的な記録とは言い難い状況が示された。分布拡大の経路は明らかではないが、西方から東進した可能性が考えられる。本年、旭川市における大発生私信もあり、道東域への分布拡大は近年顕著に進行しているとみられる。道東全域の調査は行っていないが、国道および道道沿線での調査結果を以下に示す。

#### <調査データ>

国道336号線～道道1038号線～国道38号線(9月4日)  
大樹町美成、豊頃町長節、浦幌町昆布刈石、浦幌町厚内、浦幌町直別、釧路市音別海光、釧路市音別あけぼの、白糠町和天別、白糠漁港、白糠庶路、白糠町恋間。

国道44号線～道道123号(9月5日)

厚岸町尾幌、門静あつけし望洋台、厚岸町サンヌシ、厚岸町港町、厚岸町松葉、厚岸町奔渡、厚岸町末広(翅)、厚岸町あやめヶ原第二駐車場(翅)

国道272号線～国道244・243号線～国道44号線+JR駅(9月7日)別海町計根別、中標津町東、中標津町堺、標津町南、別海町尾岱沼、別海町本別海、浜中町茶内駅、浜中町厚床駅、根室市酪陽(翅)、根室市東梅駐車場(翅)

※(翅)は生体未確認で翅のみを確認した場所。

### まとめ

川原・橋本(2008)にて、道東域では希少とされた本種であるが、この約15年間で広範囲に定着が確認された。分布の東端調査では、泊湾に面した尾岱沼でも多くの飛翔個体が確認されたが、根室市西部に至ると個体数が急減し、東梅駐車場で複数の翅を確認したのを最後に、温根沼大橋以東では本種の生体および痕跡を確認できなかった。

### 謝辞

鶴居村での視認情報を提供いただいた鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリの櫻井真弓氏、温根内での過去記録と写真を提供いただいた温根内ビジターセンターの藤原伸也氏、標茶町の記録文献をご教示いただいた北海道博物館の堀繁久学芸員に深く感謝申し上げます。

### 引用文献

川原 進・橋本 勝.2008. 北海道東部では稀なクスサン(鱗翅目: ヤママユガ科)の記録.知床博物館研究報告, 29: 9-10.

### 参考文献

飯島一雄. 1990. 標茶町の蛾. 標茶町郷土館報告 5: 1-94.  
中谷正彦・平間裕介. 1995. 釧路湿原の昆虫. SYLVICOLA, 別冊II: 19.  
中谷正彦・平間裕介. 2011. 釧路市春採湖の昆虫. SYLVICOLA, 別冊V: 162.